

□ 要請番号 (JL31818B01)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
エクアドル	F113 マーケティング		個別	新規	2年	・ 2019/1 ・ 2019/2 ・ 2019/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

外務省

2) 配属機関名 (日本語)

インタグ川コーヒー伝統農法生産者協会
NGO

3) 任地 (インバブラ県 コタカチ市 アプエラ村) JICA事務所の所在地 (ピチンチャ県キト市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 4.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

1998年設立の団体。地域で採れるオーガニック栽培されたアラビックコーヒーの栽培支援、加工、公正取引を行っている。同コーヒーの生産や販売におけるバリューチェーンの強化を通じ、生産者家族の生活の質の向上を図っている。また、同コーヒーの有機生産と販売を通じた持続可能な環境・経済の維持をミッションとしている。コーヒーは、ドイツの承認機関BCS OKO GARANTIEの承認を受けている。本団体の販売システムによる裨益家族は約400家族。現在約120会員家族が活発に活動しており、うち66家族が前出の承認を受けている。職員数は10名。年間予算は約47万米ドル(2018年)。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

有機栽培コーヒーとして当局に承認されたコーヒーは、販売から売上金入手までの時間が比較的短く、売上の生産者への還元も早い。一方、同じ場所・方法で栽培された同じ種類のコーヒーでも、承認を受けていないものは、いわゆる一般のコーヒーとして、市場での価値が低い。その場合、売上金の回収は遅くなり、生産者の生活にも影響がでる。そこで、協会は承認を受けていないだけで買いたたかれてしまう協会のコーヒーを広く市場に知ってもらい(市内～域内～国内)、販売・売上の向上に繋げたいとしている。そのために、配属先は、まずは本協会の(コーヒーの)ブランドイメージ、企業イメージの向上に視点を置いた販売・商品化にかかる協会の能力向上を図ろうとしており、その支援が求められている。また、それにはSNS等を利用した手法が主になるのではとも考え、前述の視点と総合的に判断し、日本のボランティアへの要請となった。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先の同僚が、組合が扱うコーヒーの商品化や販売方法に関する技術を習得できるよう、また、コマーシャルチェーンの拡大の他に、組合が扱うコーヒーブランドイメージアップ、及び協会の企業イメージ向上に向けて、以下の活動を行う。

1. 配属先同僚に対する生産品の商品化やプロモーションの支援
2. 配属先同僚との商品化に関する知識や経験の共有
3. 配属先同僚とともに、販売拡大の可能性の調査

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務室、書籍、コーヒー官能試験機材、バリスタ機材

4) 配属先同僚及び活動対象者

協会会長/50代/男性/経験16年

総務/40代/男性/経験16年
技術コーディネータ/30代/女性/経験12年
秘書/40代/女性/経験18年
広報/40代/女性/経験4年/首都在住
コーヒー生産者、学生

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ） [学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考： [経験]：（ ） 備考：

[参考情報]：

- ・マーケティングや販売促進の知識・経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（地中海性気候） 気温：（15～28℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（安定）

【特記事項】

製品紹介マテリアル作成に関する知識と経験があると良い。
配属先のある地域は山岳高地